

# 建やかな日

# ゆうあいセンタ

協議会」に委託されています 至ります。 運営は猪名川町 から「社会福祉

して町が建設し、平成16年に障がる人のための「福祉センター」と平成7年に高齢者と障がいのあ い者福祉センターを増設して今に などの意味が込められています。で、「友愛」「YOU AND I\_ ノター」は一般公募による愛称 センター」です。「ゆう正式名称は、「猪名川町 「ゆうあいセス川町総合福

ゆうあいセンター

長い人生を充実して楽しめるよすべての人が生きがいを感じ、 いセンターとそこに集う人達を紹 様々なお手伝いをするゆうあ

町総合福祉センター(月曜休館、但し祝日の場 合は開館し翌火曜日が休館☎ 766―1200)



### 主な施設

◀\*食堂\* 500 円 の日替わり定食が お勧めです。

高齢者、 よう工夫されています

できます。 日と時間を分けて、快適に利用できる ▶\*室内プー 障がいのある人、一般で利用 土・日曜日は賑わいます。 \*町内在住者のみ利用

を問わず、 ボールなどが楽しめ 屋内のため、 に\*コミュニティドー テニスやゲー 季節や天候 ます



▼\*浴場\*誰でも利用でき ます。大人気で、開く前か ら並んで楽しみに待つ人も おられます。利用料 100円



# 家庭的な雰囲気が自慢

# グループホーム

定員の6人が個室で暮らしていま す。

部屋の入口に手作りの表札をか け、フロアにもみんなで作ったタペ ストリーや折鶴などを壁に飾り、生 活空間を自分達らしく演出していま

入居者の一人は「ここは自分の家 として自由に暮らせるところが気に 入っています。終日テレビをみてじ っと過ごすなどは嫌いで、得意な裁 縫でお手玉を作ったり、パズル本を 解いたりと、自分で考えて日々の楽 しみを見つけるのが好きです」との ことです。

季節の催しも盛りだくさんです。 初詣、餅つき、花見、イチゴ狩り、 干柿作り。「秋の栗ひろいは特に楽 しかった」とのことです。

取材日は節分の豆まきでした。「豆 がおいしくてたくさん食べました」 と顔をほころばせておられました。



#### ▲和やかな雰囲気で談笑する入居者

毎日、3時にスタッフと入居者で お茶を飲みながらおしゃべりや卓上 ゲームを楽しみます。お茶の後は、 全員で夕食を支度します。

入居者は人生のベテランで料理上 手です。得意なことを分担し手際も 抜群です。若いスタッフが台所仕事 を教わることもよくあります。

「生活の中で、できることはどん どんお任せします。それがいつまで も生き生きと過ごされることにつな がります」とのスタッフのお話で、 実際、みなさんとても元気でご長寿 です。

てゆうあいセンターを訪れま近くにいながら、実は初め



ール、ワンコイン清潔感あふれる

るランチなど、 そして、そのインでいただけのお風呂にプ

た。

【いながわ特派員】

お話を伺う先々で、人の優

お話を伺う先々で、人の優

の笑顔があふれていました。

む利用者 ▶食事の後オセロで楽し





# 心も体もリフレッシュ

ゆうあいセンターには介護 保険事業の一環として、「高 齢者デイサービス事業」があ ります。

デイサービスでは、介護施 設に日帰りで通い、食事や入 浴はもちろん、レクリエーシ ョンなどを楽しむことができ ます。

また、自宅に閉じこもりが ちなお年寄りにとって自宅と は違う環境で過ごすことで気 分転換を図れ、家族は介護疫 れを軽減することができま

柏原地区からデイサービス を利用されている皆さんにお 話を伺いました。

「足腰が弱っている私達に とっては、バスで送迎してく れるのは本当にありがたいで

お風呂も清潔で気持ち良く、 いつも家で食べるものとは違 う献立をいただける食事も楽 しみにしています。

ここに来て、折り紙やゲー ムを教えてもらい、みんなで 楽しく時間を過ごせて幸せで

それになんといっても職員 の人が親切で、心から接して くれているのが伝わってきま

皆さん一様に楽しそうに話 してくださいました。

# 得意なことを伸ばします

#### すばる 希望の家

▶紙すきハガキを作る利



「希望の家 すばる」は、障害者自立支援 法に基づく多機能型事業所で、利用者や家族 の思いを尊重しながら、本人の自己実現に向 けて支援をする事業所です。

ここは利用者にとって日中の活動の拠点と なっていて、色々な経験を積み、生活力や自 分の持っている力を高めていくことを目標と しています。

阿古谷から通っている仲上良美さんは、「毎 日、楽しく通っています。どの仕事も楽しい ですが、1番好きな作業はクッキー作りです」 と笑顔いっぱいで話してくれました。

昨年11月には、町立猪名川小学校6年生 と交流を持ち、すばる利用者が講師となって 車椅子を体験してもらったり、ビーズや紙す き、さをり織りを教えました。この活動は、 個人ができることを結集した結果で、今後も 継続していきたいと考えています。